

安芸高田市 中学校統合説明会資料

～学校施設編～

いまでも、これからも、生徒も、先生も
使いやすい学校づくりを目指して



「新しい時代の学びを実現する学校づくり」を目指します。

これからの学校施設は、新しい時代の学びを実現していくことを基本とし、6校を統合するからこそ子どもたちの学びの質が向上する為の学校づくりを進めたいと考えます。

学び① 多様な学びに合わせた教室を整備します



既存校舎：普通教室



計画

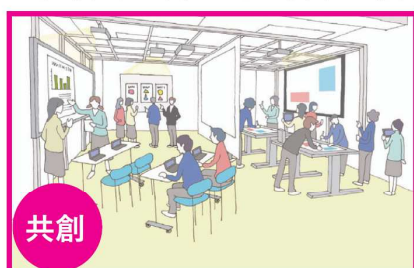
多様な学習に対応する教室※1



計画

多様な学習に対応する教室※1

これからの生徒には、画一的な学びだけでなく、個々の興味を広げていくような多様な学習の場を整備することで、協働して教えあう学びなど様々な学びの場を経験できる学校づくりを目指します。生徒自身が自主的に物事を調べ、他の生徒に発表する場も計画します。



共創

多様な学びに対応するスペース※1



共創

ICTを活用した学び※1



共創

成果を発表する場※1

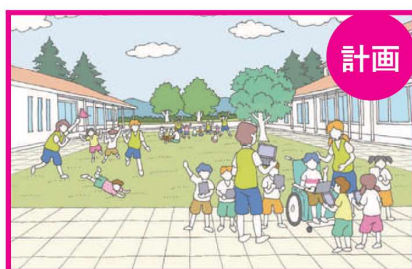
学び② だれもが学びの機会を得られる学校へ

生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行える空間づくりが必要です。特別支援教室やSSRではプライバシーの確保、個々の状況に柔軟に対応できる空間を計画します。

※SSR（スペシャルサポートルーム）：学校生活や学習などに悩んだり、不登校傾向の生徒の居場所となり、支援を行うための教室

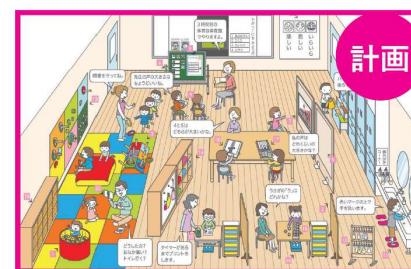


既存校舎：SSR



計画

だれもが交流、学習ができる学校※1



計画

生徒の特性に応じたレイアウト、設備

学び③ 選べるクラブ活動、選べる自分の時間

クラブ活動や課外授業は、生徒数が多いほど選択の機会を増やすことができます。また、同好会や個別学習の時間等、多くの選択肢から選ぶことで生徒の中学校生活の充実につながります。



現況

野球部



現況

卓球部



現況

バレー部



現況

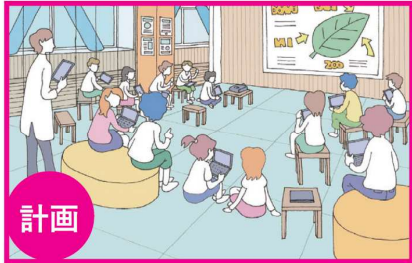
美術部

1校統合の場合、校舎の新築を計画し、最新の設備、環境の提供に取り組めます。

※2校統合の場合は既存校舎の利用を計画しています。

新しい校舎① 快適な室内環境、快適な職場環境づくり

新しい規格の広い教室、広い机・大きな椅子の導入を検討します。また、教員の働く場も快適な環境づくりを行います。断熱性能の向上、通風等の自然環境を活かした快適な室内環境をつくりま



計画

教室イメージ※1



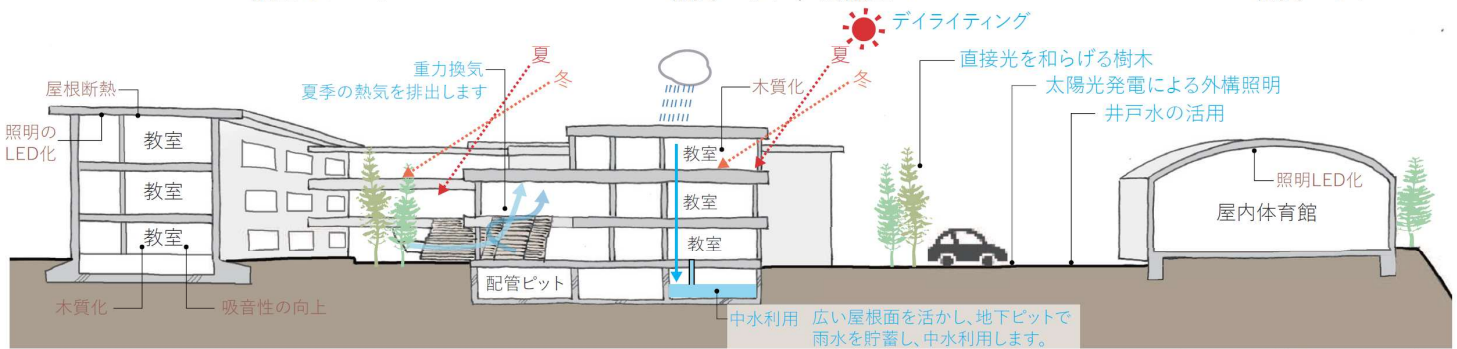
計画

職員エリア、会議室※1



計画

職員エリア※1



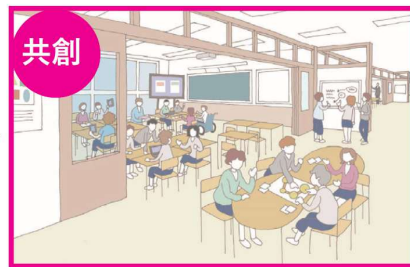
省エネな校舎イメージ

新しい校舎② 校舎全体を使った学びの空間

校舎全体が学びの空間とし、廊下や階段、教室間のちょっとしたスペースは生徒のコミュニケーションの場となるとともに、多様な学習空間として活用することで学びのメニューをひろげます。また、遮音・吸音性に考慮し、教室や廊下どこでも適正な音環境を計画します。

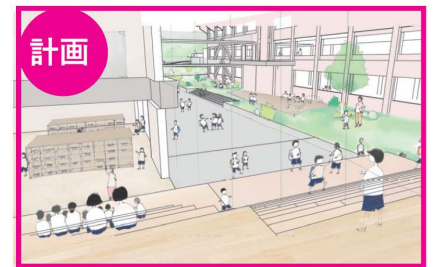


既存校舎：廊下



共創

教室と廊下の一体的利用例※1

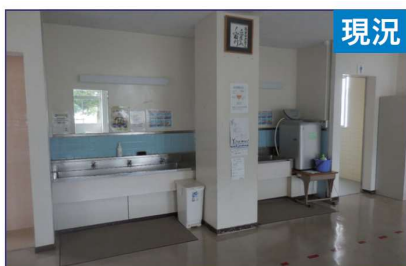


計画

階段スペースも集会利用

新しい校舎③ 並ばない、機能的トイレや水回り

トイレは機能的で清潔な空間とし、休み時間の混雑を緩和する計画とします。また、プライバシーに配慮した清潔なトイレは思春期の心と身体を整えます。



既存校舎：手洗い場



計画

混雑を緩和する手洗い場の例



計画

清潔なトイレ空間

※1：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」2022.3 参照

「将来を見据えた学校づくり」

「10年、30年、50年先の安芸高田にとって合理的判断か」という視点で施設づくりを行います。また、災害などの緊急時には「まちのセーフティネット」として機能する施設計画とします。

①地域コミュニティを未来へ繋いでいく学校をつくります。

将来、人口が減少した時に生じるスペースの活用を踏まえた施設計画とします。近い将来を考えると、校舎の一部を地域開放し、地域コミュニティの結び目のひとつとなります。また、遠い将来に対しては、校舎の一部を他の用途として活用を見越し、予めセキュリティ・設備計画を想定しておくことで、将来計画に柔軟に対応できる計画とします。

②災害時に地域の拠り所となる施設をつくります。

まちの指定避難所となることの多い学校施設は、体育館や教室など広さが異なる部屋を活用し、災害時にでも個々のプライバシーに配慮した計画とする必要があります。また、非常用発電設備や、敷地内全域をWi-Fiエリアとすることで、地域の方々に安心して利用してもらうことのできる施設を計画します。

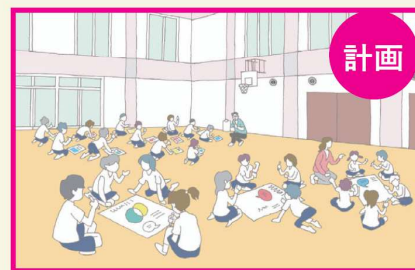
学校施設は、グラウンド等の外部空間が充実している為、ボランティアのテント・仮設トイレの配置など必要に応じて柔軟に対応できます。



避難所としての機能強化※1



外部空間の活用



床座を想定した計画※1

③自然エネルギーや既存のストックの有効活用。

省エネルギー、自然・再生エネルギーの活用など、世界的にエネルギー問題に対しては、地に足をつけ、安芸高田市にとって何が必要かを慎重な検討の後、取捨選択していきます。



再生エネルギーの活用※1



森林資源の有効活用※1



木質化による快適な空間

※1：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」2022.3 参照